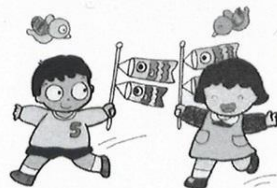


えんだより



平成 28 年度 5 月号 あおぞら水元保育園 Tel:03-3600-7080

水元中央公園では木々の緑がまぶしい毎日ですが、各クラスでは散歩の時に自然の変化に気付けるよう声かけをしています。

最近では日々の観察も習慣となり、子どもから発見の声や指さしもあります。

戸外で過ごしやすい季節は短いので、今の時期良い空気を吸って思い切り体を動かしましょう。

子どもも心地よい環境では心身ともに大きな成長がみられます。機嫌の良い大人と楽しい時を過ごせた経験を持つ子どもは、安心して大きくなれます。自らの生きる力が付いてきます。

九州の震災を報道で知った時、子どもであっても自らのとっさの判断が必要な時がある事を思いました。

【クラス紹介】 もり組

『元気にのびのびと』

もり組では、“子どもと思いが通じあう”ということ大切にしています。

この時期、自我が芽生え感情表現が豊かになります。少しずつ言葉が始め、気持ちを言葉で表現する人もいれば、身振り手振りで伝えようとする人もいます。その際に子どもの要求を先取りしないように待っていて、うまく表現できない時には、子どもの気持ちを考え、あいづちを打ったり言葉で代弁してあげながら自分から表現しようとする気持ちを育てていきます。他児への興味も増し、関わろうとする姿も見えてくる為、安心して子ども同士のやりとりが出来るように職員が傍で見守り“一緒に”の気持ちに気付けるようにしていきます。又、天気の良い日には、戸外へ出ておもいきり体を動かせるように、職員も一緒に走ったり遊具で遊びながら体の発達を引き出してあげたいと思います。広々とした室内でも静と動の遊びが出来るよう心がけ、いつでも元気にのびのびと過ごしていきます。

保護者の方々と情報交換を密にし、お子さんが安心して過ごせるようにしていきますので、年間ご協力お願い致します。

★給食室より

「早寝・早起き・朝ごはん」は、子どもの成長発達に大切な習慣です。

夜、早く寝ることは睡眠中の成長ホルモンの分泌をうながし、朝、早く起きてしっかりと朝ごはんを食べることは、午前中の体力や脳の働きには重要で乳幼児期のお子さんが必要です。

朝ごはんを食べないおさんは、疲れやすくてイライラし、怒りっぽくなったり、ボーっとして根気もなく、学習能力も低下します。

特に生後から就学前の数期間は、脳や心身発達の目覚ましい時期なので、大人の生活習慣の善し悪しによってお子さんの将来におおいに影響してきますので注意しましょう。

乳幼児期を育てる①

誕生と同時に周囲の環境がお腹の中にいた時と全く違い、恐怖と不安で泣きます。これが産声です。

この世で初めて出会う人間は「医師」「看護師」「助産師」等ですが、ここから人間とのかかわりが始まります。次に出会う人間は「母」「家族」ですが、赤ちゃんはまだ家族関係を理解できませんから「人間って優しいんだ！人間って怖いんだ！」「この世は安心なんだ！不安がいっぱいなんだ！」と感じながら育っていきます。親や家族は赤ちゃんとの関係が分かっていますが赤ちゃんは毎日の生活の中で「人間との関わり方」を感じていきます。早くも判断のできる、一人の尊厳ある人間なのです。

★保健室より

入園・進級に伴って環境の変化から体調を崩しやすくなります。子どもの様子や体調が変わったことがありましたら、担任又は朝の受け入れの職員にお伝え下さい。また、欠席をする時には、必ず連絡をお願いします。お休みされる理由・症状・熱などをお伝え下さい。

保育園で大勢のお友達と生活するようになると感染症にかかる機会が多くなります。医師の診断により、「はしか・風疹・水痘・おたふく風邪等の感染症」の時は、必ず完全に治ってから「登園許可書」を持って登園して下さい。登園許可書については、入園のしおりを参照して下さい。

4月から5月は、紫外線が多い時期なので、日焼け防止対策についてお知らせいたします。日焼け止めに関して保育園では、皮膚の疾患などで医師の指示がある場合のみ、指示書を確認の上お預かりし塗布しています。日頃の日焼け防止対策としては、「帽子・薄い長そで・長ズボン」を着用するなど、衣類の調整による対応となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

5月27日(金)は、園医による春の内科健診があります。前日お風呂に入り清潔な衣服で登園して下さい。

詳細についてはお知らせを配付いたしますのでご覧下さい。子ども達の健やかな成長には大切な健診ですので、お休みされぬようご協力をお願いいたします。